

会員インタビュー

志摩市阿児町立神3412

(株)山本建材代表取締役 山本 和宏さん

男女がいきいきと働いている企業

三重県知事表彰を受賞

個人の能力とやる気を重視



知事表彰を受ける山本和宏さん

平成19年度「男女がいきいきと働いている企業」で三重県知事賞を受賞されました志摩市阿児町立神3412、(株)山本建材代表取締役・山本和宏さんにインタビューしました。

—どのようなところが表彰の理由になったと思いますか。

男性社員が多い中、現在女性は7名でうち5名を役職者に登用しています。男女関係なく、配置転換などを自己申告と面談で社長に相談が出来ます。社員に合った研修、他部門の会議への希望参加や資格取得等の講習会の参加費全額会社負担などを行っています。性別にとらわれず個人の能力ややる気を重視しています。

—女性が働きやすい職場ということでしょうか。

短時間労働者でも正社員になれるようにし、働きに応じて賞与も与えています。セクハラが相談できるように総務部長と主任（ともに女性）が女性職員をフォローしています。女性のみの健康検査レディースドックを行い、健康管理にも配慮しています。また、未就学児童や小学生を対象とした保育所や学童クラブの利用も、会社が全額負担するなど女性が元気に安心して働くように努めています。

なお、この表彰では会員の志摩環境事業協業組合さんも受賞されています。

新入会員のご紹介

（平成20年4月1日～8月31日）

会社名 (有)ヤマコウ 代表取締役 山本 勝
住所 三重県四日市市桜台1-26-90 ☎059(326)5478
営業の種類 産業廃棄物収集運搬業

会社名 マルト建設(株) 代表取締役 枝森常美
住所 三重県名張市東町1827-5 ☎0595(63)1285
営業の種類 産業廃棄物収集運搬業

会社名 (有)エコジャパン 代表 宮崎紀生
住所 名張市桔梗が丘2-4-28 ☎0595(65)6227
営業の種類 産業廃棄物収集運搬業

会社名 (有)平山商店 平山高司
住所 鈴鹿市広瀬町1457-2 ☎059(378)2467
営業の種類 産業廃棄物収集運搬業

会社名 (株)プランテック 代表取締役 勝井征三
住所 大阪市西区京町1-6-17 ☎06(6448)2200
営業の種類 環境衛生プラント設計施工（賛助会員）

会社名 マンエン(有) 代表取締役 岡山稟史
住所 津市小森町2297-1 ☎059(255)9211
営業の種類 産業廃棄物収集運搬業・処分業

会社名 サンサービス(株) 代表取締役 矢田 進
住所 鈴鹿市庄野町2-1-38 ☎059(378)0768
営業の種類 排出事業者

会社名 オリエンタル印刷(株) 代表取締役 松岡祐司
住所 津市河芸町上野2100 ☎059(245)3111
営業の種類 印刷業（賛助会員）

退会会員

(株)新居浜鐵工所
敷島スター(株)
サンジルシ醸造(株)
(株)ハヤミ

会員の現況

平成20年
7月28日現在

	正会員	排出事業者	63
会員の現況		処理業者	308
平成20年 7月28日現在		賛助会員	28
		会員合計	399

こげら（小啄木鳥）って何？こげらとは日本で一番小さなキツツキ。今回は、環境問題のひとつとして、こげらの話をしましょう。なぜ環境問題かというと、この写真のこげら、実は、住宅街の公園の朽ちかけた木に巣をつくり、その巣で生まれた、まだ飛べないこげらです。住宅街にキツツキ？？近くの森が宅地造成のために切り拓かれました。何本もの木が倒されました。森の木は生長するときに空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。地球温暖化を防ぐために大切な働きをしています。木が倒れたことによって、二酸化炭素を吸収できなくなる…今回はそれだけではなく、森に住んでいた鳥たちの住家が奪われたようです。

このこげらの雛は、巣穴を人間にいたずらされ地面に落下。たまたま居合わせた別の人間の子供の手に触れることに。人間の臭いがついた雛鳥を親鳥や兄弟たちが受け入れることはなく、巣穴へも戻しても、また落とされる…。

ところで、キツツキが木を叩く目的を知っていますか？一つは、木の幹にいる昆虫を餌にするためです。

身近な 環境問題

こげらの話



穴を開けたり、皮をはいだりするのは、必ず虫に冒された木で、健康な木をつつきまわることは、殆どないと言われています。つぎに、巣穴を作るため。あとはほかの鳥のさえりと同じで、なわばり宣言と異性への求愛だといわれています。

さて、環境の話に戻りましょう。地球温暖化防止という言葉をよく耳にするようになりましたが、北極の氷が溶けるとか海面上昇とかオゾン層破壊とか…今、すぐに目にすることのできない状況の話を色々なところで聞きます。温暖化を防ぐために各地で植樹が行われているという話も聞きますが、開発のために、森が切り拓かれる場面に遭遇することもしょうっちゅう。なんだか、とても矛盾しているような気がしませんか？

さあ、このこげらの雛たち。新しい住家は人間の家の居間となりそうです。親鳥に見放された飛べない雛は自分で生きることは無理でしょう。私には、餌の採り方を教える術はありません。県の許可をもらい、責任をもって、家族の一員として迎え入れました。

メール会員募っています！

当協会は、会員皆様への情報連絡をFAXからメールでの情報発信にして行きたいと思います。メールでの情報発信にご賛同の方は下記アドレスまでご連絡下さい。
skmie@beach.ocn.ne.jp

投稿をお待ちしています！

- ①表紙の写真
- ②会員インタビュー（自薦・他薦）
- ③身近な環境問題（記事・写真）

について皆様からの情報提供、投稿をお待ちしています。

お問合せは、協会事務局まで